

## 博物館活用カード

活用学年及び時代	小学校 6 年 中学校	縄文時代
活用資料コーナー及び資料名	川越のあけぼのコーナー 丸木舟	
資料についての解説	入間大橋上流の川越市老袋の入間川左岸より出土した。全長約 500 cm、幅 60 cm で、材質はカヤの木である。船底が部分的に炭化しており、焼いてくりぬく造船技法により造られたことがわかる。また、船とともに泥炭層からは、ハス、オニグルミ、ヒシの実なども発見された。	
学習内容	縄文時代の人々の生活の様子や知恵	
活用方法	<p>「縄文人になって考えてみよう。」 予想を出し合い、どれがいいかを話し合いながら進めます。</p> <p>舟を作ろうと思います。最初に木を見つけたいと思いますが、どこへ探しに行きますか。 木がたくさんある場所を見つけました。さて、どんな木を選びますか。</p> <p>いい木が見つかりました。さて、なにを使って切り倒しますか。 手がかりになる資料がまわりにあるよ。 どのようにして舟の形にしていくのですか。 こげている部分に気付かせる。 完成した船に乗るのは、男性？女性？どうしてそう考えるの。</p>	
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・舟ができるまでを予想し、縄文人の知恵について考える。 思考・判断</li> <li>・道具をよく見て、それができるまでの過程を考えていく方法により、様々な疑問や発見を見つけることができることを知る。 知識・理解</li> </ul>	
活用のための留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員によるミニ授業の形態が効果的である。</li> </ul>	